



学校の新しい一年が始まりました!!

校庭の桜が満開になり、子どもたち達が元気に学校に戻ってきました。いよいよ平成29年の教育活動がスタートしました。お子様のご進級おめでとうございます。本年度も、「心豊かでたくましく生きるなかむたっ子」を育てることを目標に全職員で取り組んでいきます。

保護者の皆様、地域の皆様、昨年度同様に今年度も、本校教育活動へのご支援とご協力を頂きますようによろしくお願いいたします。

お世話になりました！そして よろしくお願ひします!

このたびの人事異動で退職、転任された先生方、新たに中牟田小学校に赴任された先生方を紹介します。

【退職】 江藤 紀久子先生 (退職され再任用で朝倉市金川小学校へ)

【転任】 牟田 義治先生 (東小田小学校へ)

【赴任】 原口 光都美先生 山岸 史弥先生 (東小田小学校より)



始業式での話！～自分で考えて行動する子どもとは～

皆さん、進級おめでとうございます。

いよいよ今日から新しい学年の始まりです。皆さんから新しい学年への希望が満ちあふれていることを感じます。3年生、5年生は、クラス替えがあり、学級のメンバーも少し変わりました。不安もあるでしょうが大丈夫ですよ。きっと、新しいお友達ができますよ。

今日は、皆さんを1年間担任してくださる先生も決まります。この式の後には、新しい教室に入ります。新たな教室で、新たな1年をスタートしましょう。どんな1年になるか楽しみです。

今日は、担任の先生から「こんな学級にしたい」という話があります。お家へ帰ったら、今日決まった担任の先生のこと、新しい学級のこと、友達のこと、そして自分のめあてをお家の方に話してみましよう。

これは、なんだかわかりますか。そうです。今日配られる新しい教科書です。実はこの教科書は、校長先生が小学校の時に、全国の小学校、中学校で、教科書の無償化と言って、お家の方がお金を出さなくても国から配布されるようになりました。国からタダで配布されるためには、色々な人たちが運動をしてくれています。詳しい話は、この後、担任の先生から聞いてください。

次に、校長先生から皆さんへの願いについてお話しします。今年度は、中牟田小学校の子ども達には、こんな子どもになってほしいという話です。それは、「自分で考えて行動する子ども」です。

学びづくりでは、「進んで学ぶ子」になってほしいと思います。

中牟田小学校

心豊かでたくましく生きる なかむたっ子の育成

では、「進んで学ぶ子」とは、どんな子でしょう。皆さんは、勉強を していて分からなくなったことはありませんか。 勉強が分からない ことは、分かるための第一歩です。 なぜなら、皆さんは、分から ないことを分かるために学校に来ているからです。 分からないこと

自分で考えて行動できる
子どもの育成

インプットからアウトプットへ

学びづくりでは
「進んで学ぶ子」に

がある時は、どこが分からないかをはっきりさせることです。とても、重要です。そして、まずはペア学習の中で、お友達に聞いてください。これまで分からなかったことが分かってくると、「なるほど、わかった。」 という感動の声が出てきますよ。



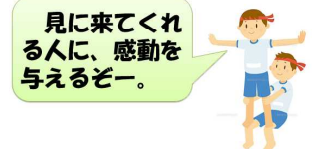
心づくりでは
「相手のことを考えて行動できる子」に

心づくりでは、「相手のことを考えて行動できる子」になって欲しいと思います。皆さん、友達を仲間外れにしたり、友達にいやなことを 言ったらいけないことは、しっかりと分かっていると思います。では、そういった場面にあったらどうしますか。その時は、「ダメ」と 言えますか。 ぜひ、言える子になってほしいと思います。



体づくりでは
「目標を持って挑戦する子」に

体づくりでは、「目標を持って挑戦する子」になって欲しいと思います。まもなく、5月の運動会に向けて練習が始まります。組体操やダンスをいろいろな先生方から教えてもらいます。お家の方も楽しみにしていると思います。そこで、先生方から教えてもらうだけではなく、 何のために、組体操やダンスをするのか、どうしたら応援に来ていた だいた方に、自分の思いを伝えられるのか、考えてほしいと思います。



今年1年、皆さんが「自分で考えて行動する子ども」に成長する姿を楽しみにしています。先生達も今年1年頑張ります。

ひとりごと ～役に立った魔法の言葉～

私が新任として赴任した福岡市の小学校の話です。28クラスの大規模校で、毎年、担任は総入れ替えでした。そんな中で、どんな先生が担任になっても、**とても生き生きとしている子ども**がいました。不思議に思って、その子のお母さんに、聞いてみました。お母さんは、担任が決まった始業式の日、どの先生になっても必ず、「〇〇先生で良かったね。↑」と言うことにしているとのことでした。その話を聞き、だからこの子どもは、安心感を持って1年間を頑張ることができるんだなあと思いました。

その**魔法の言葉**を私も自分の子どもに実践したら、1年間を楽しく過ごすようになりました。